

# ちいさなたね【乳児おたより】

## あり組・ひよこ組・りす組

2022年度 2月

聖和乳幼児保育センター

寒い中ですが、毎日元気に散歩や園庭遊びを楽しんでいる子どもたちです。木の実を夢中で拾ったり、陽だまりを見つけて温かさを感じたり、この季節ならではの自然を園庭や聖和の森で感じました。室内では自分のやりたい遊びをじっくりと楽しむことや、友だちと一緒に遊ぶ姿も増えてきました。絵本を読んでいると、子ども同士で絵本に描かれているものをつまんで、友だちの口元に運び「あーん、ぱく」のやりとりを楽しむなど、関わり合う姿を見て、共に過ごしてきた時間の大切さを実感します。

生活面では、着替えや食事前の口拭きを自分でしようと意欲的な時、また、「今はやりたくない」と思いを表現する時もあります。子ども一人ひとりの気持ちを受けとめ、今の姿を大切に過ごしたいと思います。

ますます寒くなる時期なので外遊びの時間を調整し、新聞ちぎりやバスを使ったなぐり書き等、室内での遊びも充実するように計画しています。また、節分では「おにのパンツ」の歌に合わせて踊ったり、新聞紙を丸めて豆まきをしたりして、季節を感じていきたいと思います。

寒い日が続いているが、子どもたちは寒さに負けずに元気いっぱい遊んでいます。園庭や大学の森、テラスでは「よーいドン」と走って凧揚げをしたり、その場でくるくる回って凧を浮かばせてふわふわと風に乗る様子を見たりして、思い思いに楽しんでいました。室内でもコマを回して「できたよ」「くるくる～」と楽しそうに、正月ならではの遊びをして過ごしました。

また生活面においては、靴や帽子の着脱、手洗いを「〇〇くん(ちゃん)が！」と自分でやってみようと意欲的に取り組んだり、難しい時は「できない」と伝えにも来てくれます。子どもたち一人ひとりの思いを大切にし、見守ったり、一緒にする中で方法を伝えたりして“自分でできた喜び”を感じられるようにしていきたいと思います。

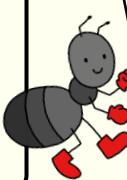
今月は『鬼』が題材の絵本を見たり、みんなで模造紙にローラーと絵の具を使って表現を楽しんだ鬼に、新聞紙を丸めた豆で豆まきをしたりして楽しく節分を過ごしたいと思います。

寒さが厳しくなる中、りす組の子どもたちは園庭で鬼ごっこやむっくりくまさん、凧揚げなどを楽しみ、寒さに負けずのびのびと遊んでいます。凧揚げでは「飛んだ！！」「見て！高いよ！」と、一人ひとり好きな絵を描いた紙凧が揚がる様子を見て、喜んでいました。その中で、友だちと一緒に走りながら凧を揚げたり、転んだ友だちに手を差し伸べたり、子ども同士の関わりがさらに深まっている様子に成長を感じました。

また、鬼の制作では、「優しい鬼にする～」「可愛い鬼にする」等、バスで鬼の顔を表現しながら楽しんでいます。一人ひとりがイメージして工夫した素敵な鬼がりす組の保育室に登場する予定ですので、楽しみにしていてくださいね。

今月も大学の森やグラウンド、園外へ散歩に出かけるなどして冬の自然の中、新たな発見や喜びに共感したり、一緒に体を動かしたりして元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

園庭にたくさんのスズメが遊びに来ていました。その様子を保育室からみんなで見ていました時のこと、Aくんが手に持っていた玩具で窓をトントンと叩くと、スズメが驚いて飛んで行ってしまいました。しかし、しばらくするとスズメたちがまた、遊びにきてくれました。Aくんは窓際に駆け寄り、今度は音をたてずにじーと見ていました。スズメが戻ってきてくれて嬉しそうでした。



『いろいろバス』という

絵本が大好きな子どもたち。

バスの色と同じ色のものがバスに乗ったり降りたりします。どんなものが乗り降りするか覚えている子どもが増え、「きらきら（星）！」と次に出てくるものと言って、楽しむ姿が見られます。最後は、「ごじょうしゃ ありがとうございました」と、絵本の場面を模倣して、一緒に敬礼ポーズをする様子がとても可愛らしく、笑顔が溢れる素敵なものとなっています。



ままごとコーナーで

お医者さんごっこを楽しむ子どもたち。椅子を向かい合わせにし、身の回りの玩具を使いながら…

「ここに座ってください～」

「口開けてください～」

「はい！大丈夫ですよ～」と

経験したことがある病院でのやりとりを、言葉や動きで表現しながら、繰り広げられるごっこ遊びの様子がとても微笑ましかったです。

